

E233系

直流通勤型電車

S

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベアリングをこごす使用の方は、マグネットカブラー（連結器の部品）を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー（連結器の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っこ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

＜電話受付先＞ バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

＜商品・修理品送付先＞ バンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちのまち5-4-67

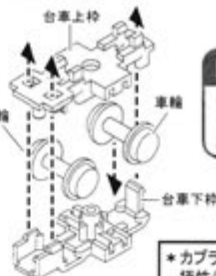
●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く） 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

●車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。

●前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



向きに注意!

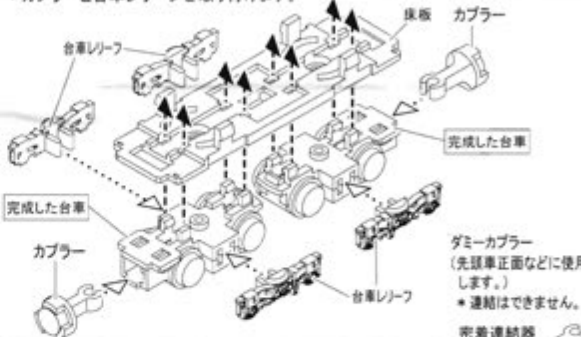
台車下枠の向きに注意してください

2 <シャーシの完成>

●出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。

●カブラーと台車レリーフを取り付けます。

●カブラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。



台車レリーフの向きに注意。



ダミーカブラー（先頭車正面などに使用します。）

●連結はできません。

密着連結器（JR電車ほか）

自動連結器（国鉄気動車ほか）

ドローバー（2両を固定連結する場合に使用します。）

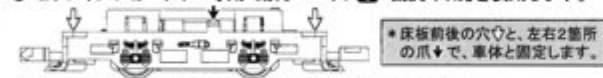
Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティ専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。

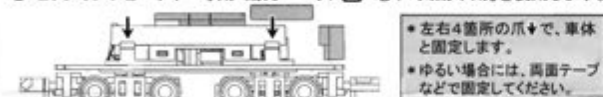


●床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノーブローは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いのでカブラーの首振りが充分にできません。重連運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティ専用・動力ユニット②・電車・気動車用」を使用します。



●左右4箇所の爪で、車体と固定します。
●ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「BTレインジョーティ専用・走行台車③」を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- 新幹線など車体幅にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

●動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線路では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
 - EF64、DF50、DD53など、車体幅の低い車両には装着できません。
 - 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①：コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①：空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②：ポルスタレス台車タイプ
- 品番11-104 ティビ客車用動力ユニット
- KATO製「ティビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシに交換・装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

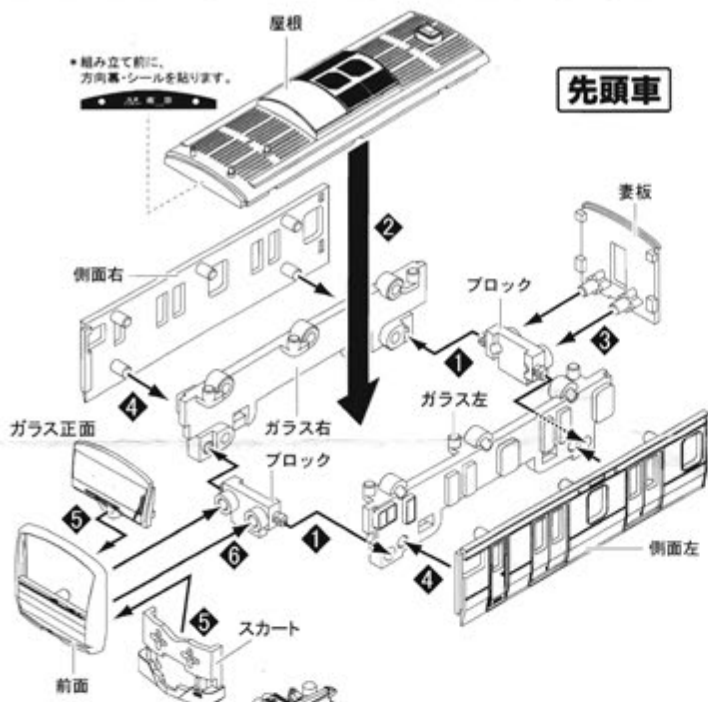
- 品番11-099 通勤電車①：コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①：空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②：ポルスタレス台車タイプ
- このほか、別ピン取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換


- 好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO:11-401 PS14:直連パンタグラフ
- KATO:11-403 PS22:直連・下枠変形パンタグラフ
- KATO:11-404、11-420 PS16:直連パンタグラフ
- ※11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。
- グリーンマックス:80-2:PS13:直連パンタグラフ
- グリーンマックス:80-3:PT42:直連パンタグラフ
- グリーンマックス:80-5:PT43:直連パンタグラフ
- クロスポイント:PT71C:シングルアームパンタグラフ

このほか、取り付けピンが第2方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

先頭車



車体の組立て

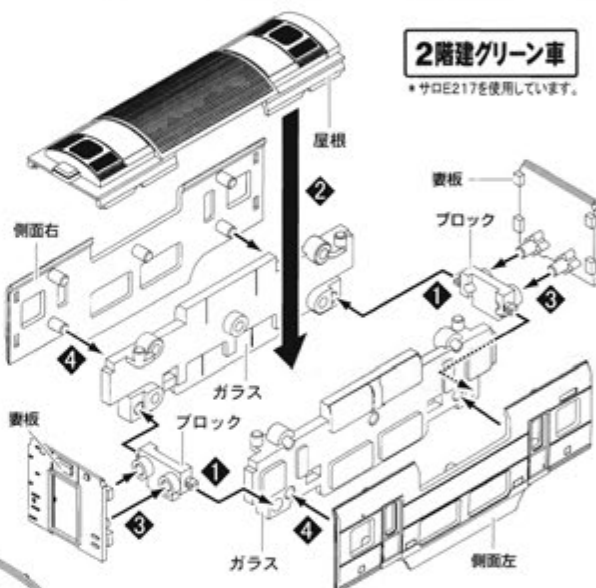
- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。

- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

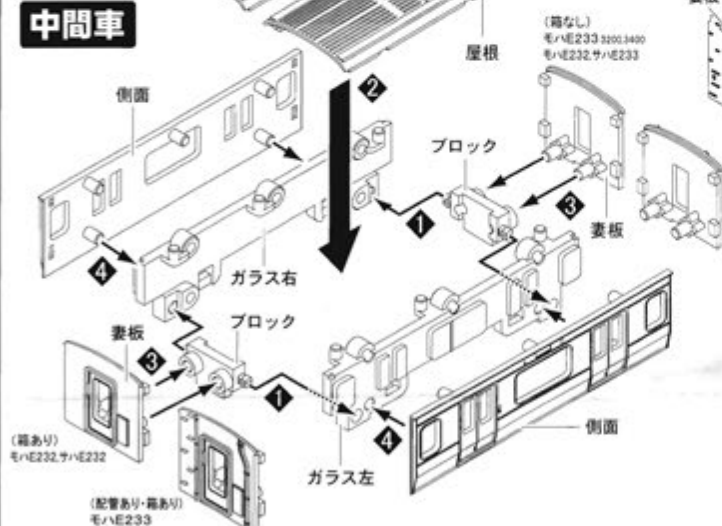
*取扱いに記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

2階建グリーン車

*サロE217を使用しています。



中間車



実車の編成例

*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。

10両基本編成

一 国府津								東京一		
編成	クハ 232	モハ 232	モハ 233	サロ 232	サロ 233	モハ 232	モハ 233	モハ 232	クハ 233	
E01	3001	3401	3401	3001	3001	3001	3001	3201	3201	3001
E02	3002	3402	3402	3002	3002	3002	3002	3202	3202	3002

5両増結編成

編成	クハ 232	モハ 232	モハ 233	サハ 233	クハ 233
E52	3501	3601	3601	3001	3501
E52	3502	3602	3601	3002	3502

*増結編成は、基本編成の東京寄りへ連結します。

ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
(万粉のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載のないものはお好みの位置にお貼りください。)

車体番号 ♫ハE232-3001

車体番号 ♫ハE232-3001

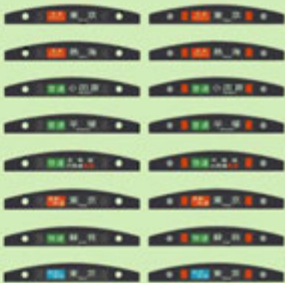
グリーン車マーク



車体番号 (5000番台:京葉線) (3000番台:湘南新宿ライン)

5000	5001	5002	5003	5004	5005
5006	5007	5008	5009	5010	5011
5012	5013	5014	5015	5016	5017
5018	5019	5020	5021	5022	5023
5024	5025	5026	5027	5028	5029
5030	5031	5032	5033	5034	5035
5036	5037	5038	5039	5040	5041
5042	5043	5044	5045	5046	5047
5048	5049	5050	5051	5052	5053
5054	5055	5056	5057	5058	5059
5060	5061	5062	5063	5064	5065
5066	5067	5068	5069	5070	5071
5072	5073	5074	5075	5076	5077
5078	5079	5080	5081	5082	5083
5084	5085	5086	5087	5088	5089
5090	5091	5092	5093	5094	5095
5096	5097	5098	5099	5100	5101
5102	5103	5104	5105	5106	5107
5108	5109	5110	5111	5112	5113
5114	5115	5116	5117	5118	5119
5120	5121	5122	5123	5124	5125
5126	5127	5128	5129	5130	5131
5132	5133	5134	5135	5136	5137
5138	5139	5140	5141	5142	5143
5144	5145	5146	5147	5148	5149
5150	5151	5152	5153	5154	5155
5156	5157	5158	5159	5160	5161
5162	5163	5164	5165	5166	5167
5168	5169	5170	5171	5172	5173
5174	5175	5176	5177	5178	5179
5180	5181	5182	5183	5184	5185
5186	5187	5188	5189	5190	5191
5192	5193	5194	5195	5196	5197
5198	5199	5200	5201	5202	5203

マーク(正面、側面)



共通正面ロゴ



グリーン車マーク

